

まちなかの巨樹めぐり

～巨樹をみる、まなぶ！～

石川県巨樹の会
副会長 間明弘光

石川県巨樹の会とは

初代会長の故 里見信生（金沢大学教授）が「豊かな緑づくりの一環として貴重な巨樹・老樹等の保存と、その環境整備並びに樹の文化等について普及活動を行う」ことを目的に、平成元年4月22日に設立された。

会員等数 150（個人132、団体13、購読5） 令和7年4月現在
会 長 北川正司

受賞歴

- ・平成9年 朝日森林文化賞
- ・平成12年 環境庁長官賞

第3回巨木を語ろう全国フォーラム加賀大会の開催

- ・開催期日 平成2年4月28日（土）・29日（日）
- ・開催会場 加賀市文化会館・加賀市中央公園・加賀市・金沢市
- ・大会内容 基調講演・パネリストディスカッション、探訪会A、Bコース実施

第30回巨木を語ろう全国フォーラム石川・金沢大会の開催

- ・開催期日 平成29年9月30日（土）～10月2日（月）
- ・開催会場 石川県文教会館・テルメ金沢・ほか県下一円
- ・大会内容 シンポジウム・交流会・巨樹探訪ツアー5コース等の実施

巨樹との関わりは？

「巨樹」といって思いつくことは何でしょう？

「癒しの効果」

「景観の保全」

「大気の浄化」

「野鳥や昆虫の棲み家」

「歴史的・文化的価値」など

・・・いろいろあります。



巨樹の定義

- 巨樹とは、
環境省が定めた
「地上から130cmの位置で幹周(幹の円周)が300cm以上の樹木を対象とする」
というのが一般的です

- 巨木林とは、
巨樹が複数生育する集団で、樹林・並木がある

この定義に基づくと石川県には約2,400本の巨樹・がありますが、適切な保存や十分な保護がなされていない場合がほとんどです。



巨樹の測り方

※巨樹を測る際に用意するもの

<計測関係>

- ・メジャー(巻尺)…5m以上のものを2本用意
- ・測量ポール…130cmの位置に印をつけておく
- ・もしもあれば樹高測定器

<記録関係>

- ・調査票…環境省が定めた様式に準ずる
- ・地図…巨樹の位置を記入するため
(2.5万分の1の地形図がよい)
- ・ボード…標高、樹種、幹周、所在地等を記載
して写真に記録する
(スケッチブック等でもよい)
- ・チョーク…ボードに記入したり、木にマーキング
するため
(マジックやマーカーでもよいが、
木にマーキングするのは不可)
- ・カメラ等…フィルム、記録メディア、電池の
充電等を忘れずに…
- ・野帳、筆記用具等

※環境省自然環境局 生物多様性センター発行の
「大きな木が待っている！」を参考にしています。

<その他>

- ・支持棒、高度計、GPS、方位磁石(コンパス)、
ポケット図鑑、勾配測定器(スラントルール)、
ビニール袋(大小色々)、無線機、双眼鏡、
油性ペン(ビニール袋にメモするため)、
鎌、ハサミ、ナイフ、帽子やヘルメット、
長袖シャツ、軍手、はき慣れた靴、雨具、
虫除けスプレー、救急用品、携帯用灰皿等



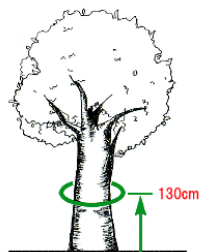
巨樹の測り方

「巨樹」とは、地上から130cmの高さで、幹周が300cm以上の木です
「巨樹」が群生していたり、広範囲に生えている場合には、「巨木林」と呼びます

【巨樹の測り方】

幹周は地上から130cmの高さを、センチメートル単位で測ります。
メジャーを幹に当てて計測された値が幹周となります。

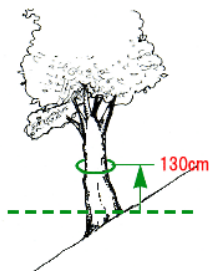
下の図のように、くぼみや空洞に関係なくメジャーの左右を引っ張り、ピンと張った状態で計測します。



【斜面にある木の測り方】

斜面に生えている木は、山側(高い方)で地上(根元)から130cmの高さで測ります。

斜面が急で谷側(低い方)に降りられないときは、山側から測量ポールで直径を測り、幹周を計算して下さい。

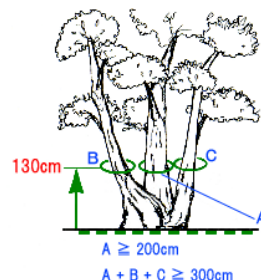


【株立ちの木の測り方】

130cmの高さで幹が複数に分かれていることがあります。
この場合は、次の条件を満たしている木が巨樹となります。

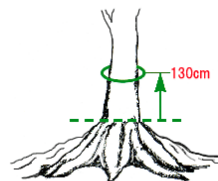
- ・一番太い幹(主幹)の幹周が200cm以上ある。
- ・それぞれの幹周の合計300cm以上ある。

このとき幹周は複数の幹の合計となりますが、主幹の大きさ、株立ち本数も計測します。



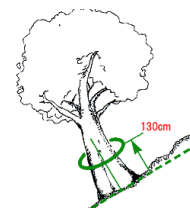
【根上がりの場合】

根が地面から上がっているときには、露出している根の上端から130cm上を測ります。



【斜面に生えている場合の計測は?】

幹の軸線を想定し、地表面に接したところから、幹の形状に沿って130cmのところまで幹周(軸線に対して垂直面)を測るようにします。



幹周りが3m以下でも巨樹の仲間
樹節を重ねても幹周りが3m以上にはならない
あるいは、育ちにくい樹種もあります。

●幹周が1m以上あると巨樹とするもの

クスノキ科	ニッケイ・ヤブニッケイ イヌガシ
ヤマグルマ科	ヤマグルマ
フサザクラ科	フサザクラ
マンサク科	マンサク・マルバマンサク
マメ科	ネムノキ・ハナズオウ
ミカン科	すべて
モチノキ科	イヌツゲ
ツゲ科	ツゲ
ツツジ科	アセビ・ネジキのように 直立幹をもつもの

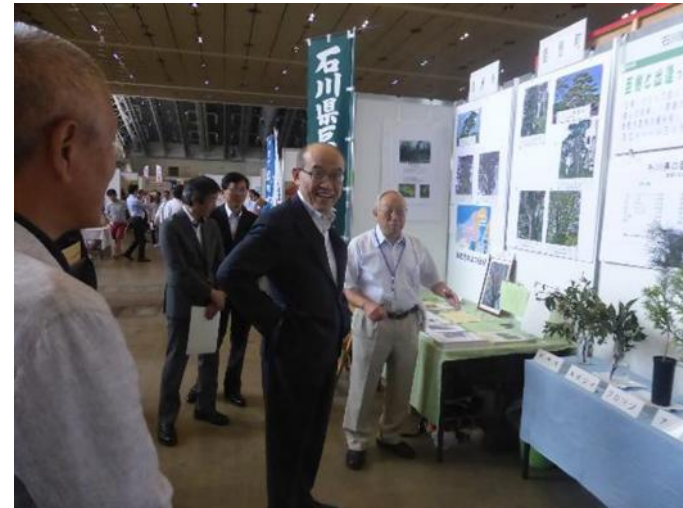
●幹周が2m以上あると巨樹とするもの

マツ科	カラマツ・ゴヨウマツ
ヒノキ科	コノテガシワ・ネズミサシ
ヤナギ科	オオバヤナギ・ケショウヤナギ
カバノキ科	シラカンバ
ブナ科	ウバメガシ
モクレン科	シキミ
ツバキ科	すべて
バラ科	エドヒガン系のサクラ を除くサクラ属のすべて
トウダイグサ科	ユズリハ・シラキ・ ナンキンハゼ・アブラギリ
ニガキ科	ニガキ・ニワウルシ
ウルシ科	ウルシ・ハゼノキ
モチノキ科	タマミズキ・アオハダ
ニシキギ科	マユミ・ビゼンマユミ・マサキ
クロウメモドキ科	ナツメ・ケンボナシ
シナノキ科	ヘラノキ・ボダイジュ
ミソハギ科	サルスベリ
ミズキ科	ミズキ・クマノミズキ
カキノキ科	すべて
エゴノキ科	すべて
ハイノキ科	ハイノキ・タンナサワフタギ
モクセイ科	ミミズバイ
スイカズラ科	アオダモ・ヒトツバタゴ サンゴジュ

石川県巨樹の会の活動

◆保護活動

- ・ 県内に現存している巨樹・巨木林の調査を行い、その現状を把握
- ・ 天然記念物指定等の保護対策の提言
- ・ 病害等の診断や治療および提言、保護育成技術や知識の習得、普及

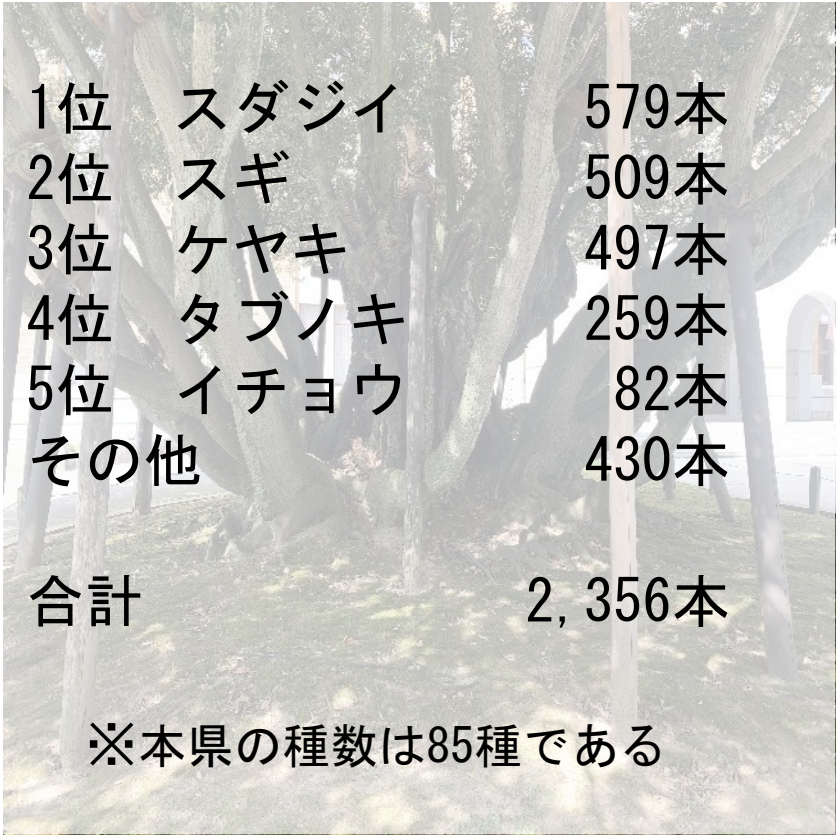


◆広報普及活動

- ・ 巨樹探訪会（年2回）
- ・ 講演会の開催、研修会、自然観察会等への講師派遣
- ・ 会報「巨樹いしかわ」の発行（年2回 2月, 8月）
- ・ 「いしかわ環境フェア」など各種行事への参加

巨樹の本数

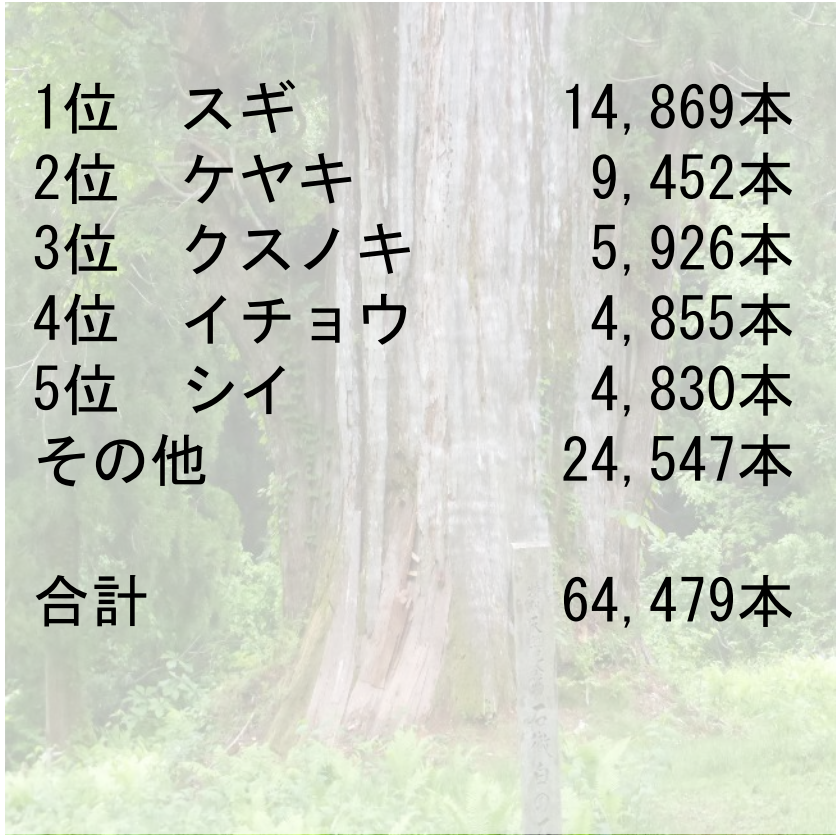
石川県 (2007年現在)



1位	スダジイ	579本
2位	スギ	509本
3位	ケヤキ	497本
4位	タブノキ	259本
5位	イチヨウ	82本
	その他	430本
合計		2,356本

※本県の種数は85種である

全国 (2000年現在)



1位	スギ	14,869本
2位	ケヤキ	9,452本
3位	クスノキ	5,926本
4位	イチヨウ	4,855本
5位	シイ	4,830本
	その他	24,547本
合計		64,479本

巨樹になる条件？

□自然環境に起因

- ・ 生育適地…土壌、土質、地形、斜面方位
- ・ 気象条件…気象害（台風、雪害、山火事）
- ・ 周辺環境…管理地、市街地、他の樹木が生育
- ・ 地理的条件…温暖、標高、奥地



□樹種に起因

- ・ 生長が早い…スギ、イチョウ、クスノキ、ナラ類
- ・ 単木でも生育可能…エノキ、ケヤキ、サクラ類、マツ類
- ・ 病虫獣害に強い…ヒノキ、シイ類

□その他

- ・ 宗教的価値
- ・ 文化的価値
- ・ 木材としての利用価値が低い
- ・ 国有地等で発見されにくい



巨樹の在りか

2008年石川県巨樹の会による調査では、下表のような結果となった

- ・ 巨樹・巨木林の約70%は、神社やお寺にある
- ・ 社叢林と呼ばれる神社やお寺が守ってきた樹林の存在
- ・ 何らかの理由で人々と関わってきた歴史がある
- ・ 単木の場合ご神木となっている場合が多い

神社	寺院	公共	個人	計
1400本	316本	313本	317本	2356本
60%	13%	13%	14%	100%

※公共：国有林、県有林、学校、公園
個人：私有林、屋敷林など



巨樹の在りか

一般的な植樹の古い記録



福岡県林業技術者連絡会 福島敏彦氏 提供

テレビ金沢つたえよう美しき森親子教室

県内の巨樹紹介

石川県の天然記念物(樹木) 一覧 (国指定)

樹 木 名	所 在 地	指 定 年 月 日
栢 野 の 大 ス ギ	加賀市山中温泉栢野ト49	昭 和 3 年 11 月 30 日
御 仏 供 ス ギ	白山市下吉野	昭 和 13 年 8 月 8 日
八 幡 神 社 の 大 ス ギ	加賀市山中温泉菅谷へ114	昭 和 18 年 8 月 24 日
篠 原 の キ ン メ イ チ ク	加賀市篠原町	昭 和 2 年 4 月 8 日
松 月 寺 の サ ク ラ	金沢市寺町5-5-22	昭 和 18 年 8 月 24 日
堂 形 の シ イ ノ キ	金沢市広坂2-1	昭 和 18 年 8 月 24 日
太 田 の 大 ト チ ノ キ	白山市白峰	平 成 5 年 4 月 6 日
鹿 島 の 森	加賀市塩屋町	昭 和 13 年 8 月 8 日
気 多 神 社 社 叢	羽咋市寺家町7-1	昭 和 42 年 5 月 2 日
須 須 神 社 社 叢	珠洲市三崎町寺家ツ部	昭 和 50 年 6 月 26 日



平成29年



明治34年頃

テレビ金沢つたえよう美しき森親子教室

県内の巨樹紹介



金沢市板ヶ谷町
八幡神社のスギ



金沢市広坂
堂形のシイノキ



県内の巨樹紹介



白山市市ノ瀬
こもちカツラ



輪島市門前
元祖アテ

金沢市内の巨樹紹介

保存樹・樹林

根拠法：都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律
(俗称：都市樹木保存法)

1. 保存樹（昭和54年度～）

健全でかつ樹容が美観上優れており、以下のいずれかに該当するもの

- ① 1.5mの高さにおいて幹周1.5m以上
- ② 樹高15m以上
- ③ 株立ちした樹木で高さ3m以上
- ④ はん登性樹木で枝葉面積30㎡以上

2. 保存樹林（昭和58年度～）

- ① 存する土地の面積が500㎡以上
- ② 生け垣をなす樹木集団が長さ30m以上

金沢市内の巨樹紹介



⑤② 堂形のシイノキ

国指定天然記念物 (スダジイ/ブナ科)

大 き さ (左) 幹周2581cm (515cm) 樹高11m
県 3 位
(右) 幹周1752cm (780cm) 樹高11m
県 4 位

所 在 地 金沢市広坂2丁目1-1 しいのき迎賓館前
見どころ 推定樹齢400年のシイノキは、旧石川県庁正面の左右にあって、門漂木となっている。この地域の代表的樹木である。前田利常がこの地に書院を設けていたときの庭園樹であったろうといわれている。



⑤③ 山崎山のケヤキ

特別名勝

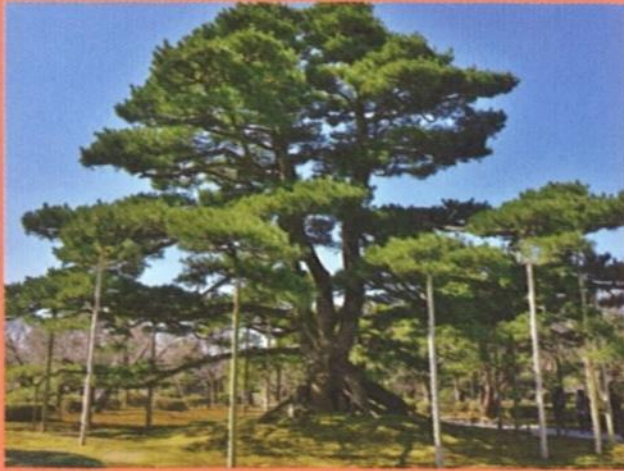
(ケヤキ/ニレ科) 6本

大 き さ 幹周330~440cm
樹高25~26m

所 在 地 金沢市兼六町1 兼六園

見どころ 兼六園の小立野口から入ると右側にある標高わずか9mの山を山崎山と呼んでいる。往古この辺りが山崎村であったことから名付けられた。秋には、ケヤキの巨樹をはじめヤマモミジやトチノキが色づき別名「紅葉山」と言われている。

金沢市内の巨樹紹介



⑤④根上りの松

特別名勝

(クロマツ／マツ科)

大 き さ 幹周386cm 樹高10m
枝張り18.0m

所 在 地 金沢市兼六町1 兼六園

見どころ 兼六園内の千歳台中央にある老松で、斎泰公お手植えの松とも称せられる。盛土で根を深く覆い、成長に従って土を取り除き、根を露出したと伝えられている。地上より2mのところでは大小40数本の根が絡み合うようになっている。



⑤⑥五葉松

特別名勝

(キタゴヨウ／マツ科)

大 き さ 幹周335cm 樹高11m
所 在 地 金沢市兼六町1 兼六園
見どころ 花見橋の近く、鶴嶋島の曲水を隔てて立っている。島の相生の松に対して、荒々しく枝を広げている。この種では県1位である。

金沢市内の巨樹紹介



⑤⑦ 猿丸神社のケヤキ

市指定保存樹林 (ケヤキ／ニレ科)

大 き さ 幹周630cm 樹高20m

所 在 地 金沢市笠舞町3-23-15
猿丸神社

見どころ 平安時代に創建された古社で、近くを流れる犀川右岸の河岸段丘に位置する。最大の樹は境内の最左にあり、落雷などによる損傷は大きいものの堂々とした風格がある。境内には他にも4本のケヤキの巨樹がある。藩政時代から、「丑の刻まいり」で庶民にも知られた神社である。



⑤⑧ 玉泉園の朝鮮五葉松

県指定名勝・玉泉園

(チョウセンゴヨウマツ／マツ科)

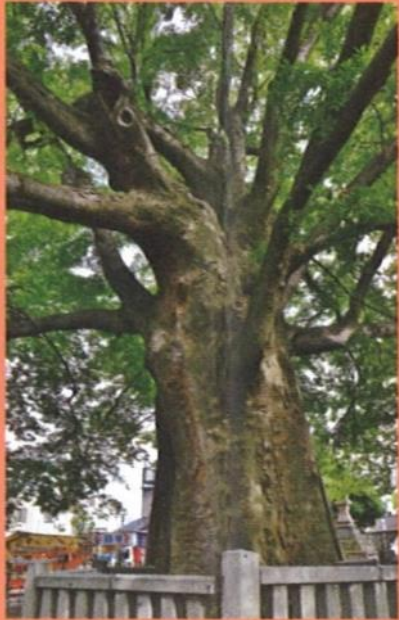
大 き さ 幹周200cm 樹高20m

所 在 地 金沢市小將町8-3

西田家庭園 玉泉園

見どころ 江戸時代初期に着工され江戸時代中期に完成した池泉回遊式庭園にあるチョウセンゴヨウマツは、樹齢300年と言われている。当家主人の脇田直賢が生まれ故郷の朝鮮を偲んで取り寄せ植えたものという。

金沢市内の巨樹紹介



⑤⑨ 神明宮の大ケヤキ

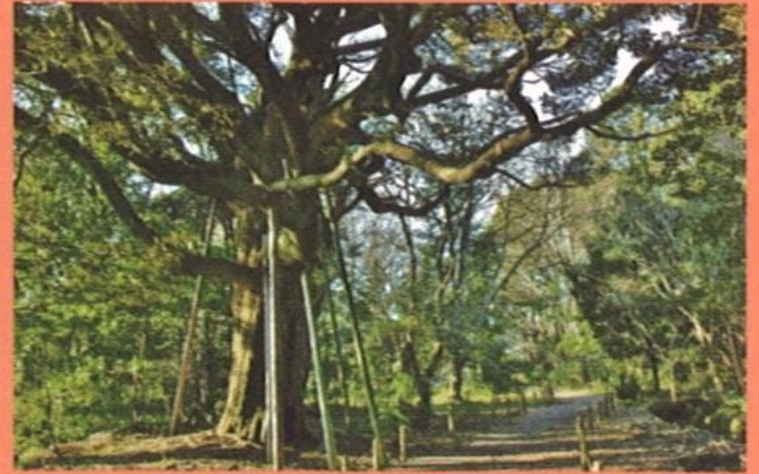
市指定保存樹 (ケヤキ／ニレ科)

大 き さ 幹周783cm 樹高33m

県 1 位 推定樹齢800年

所 在 地 金沢市野町2丁目1-8 神明宮

見どころ 境内中央にあって見事な樹冠が地内を覆っている。市保存樹第1号で、一時衰弱の感があったが、車による踏圧防止策や支柱並びに折損部の外科治療などを施し樹勢維持に努めている。



⑥⑩ 金沢城公園の巨樹群

所 在 地 金沢市丸の内1-1 金沢城公園

見どころ 面積約30ha、標高30～60mに位置し、市内の中心部で自然林が最も多く残っている。特に宮守坂周辺には、スダジイ、タブノキ、ヤブツバキなどが多い。巨樹としては、旧植物園に樹齢300年をこえるというモミ、タブノキ、ヤブツバキ、ウラジログシ、その他にモチノキ、エノキ、ケヤキ等がある。

金沢市内の巨樹紹介



⑥1 折鶴の松

市指定保存樹 (アカマツ／マツ科)

大 き さ 幹周350cm 樹高15m

所 在 地 金沢市橋場町2-17 大樋方

見どころ 加賀藩の名医森海南の住んだ屋敷で、松はその形から折鶴の松と名付けられている。樹冠に淡雪をのせた時が特に美しい。



⑥2 松月寺のサクラ

国指定天然記念物

(ヤマザクラ／バラ科)

大 き さ 幹周781cm 樹高 8 m

所 在 地 金沢市寺町5丁目22 松月寺

見どころ ヤマザクラの一種で「ショウゲツジザクラ」と呼ばれる。葉が広く、花梗には毛がなく、花は白地に紅白を帯び、花径約5cmある。藩主前田利常が小松城にあったものを二世住職に与え、植えられたといわれ、松月寺の大桜、御殿桜とも呼ばれている。

金沢市内の巨樹紹介



⑥③ 本多の森

(ケヤキ/ニレ科)

大 き さ 幹周808cm (512cm)

樹高23m

所 在 地 金沢市出羽町3-1

歴史博物館前

見どころ この森は、本多町を中心とする森林で、スダジィ、タブノキを主木とする照葉樹林である。特に、犀川、浅野川の河岸段丘斜面によって、周辺の山林と通じており、動物も移動できる多様性に富む森林である。巨樹として、ケヤキ、スダジィ等がある。



⑥④ 尾山神社樹林

市指定保存樹林

所 在 地 金沢市尾山町11-1

尾山神社

見どころ 市の中心部にあって、社叢は金沢城公園の森に隣接している。神社には初代藩主前田利家公とその正室おまつの方を祀っている。拝殿の右奥には市指定名勝の神苑（築山池泉廻遊式庭園）がある。社叢林の中で最大の巨樹はスダジィであるが、これは神苑の更に奥、合同庁舎側の土手にある。

金沢市内の巨樹紹介



⑥5 八幡神社のケヤキ

市指定保存樹 (ケヤキ/ニレ科)

大 き さ 幹周510cm 樹高30m

所 在 地 金沢市十一屋町3-32

八幡神社

見どころ 犀川左岸の河岸段丘に位置する。広くはない境内に最大値のものを含めて2本、境内に接したすぐ外側に2本のケヤキの巨樹がある。茸類の樹皮への付着は見られず、樹勢は旺盛と見える。神社の裏に立つと、犀川を越えてその先に金沢市内の街並みが一望できる。



⑥6 板ヶ谷町八幡神社スギ

市指定天然記念物 (スギ/ヒノキ)

大 き さ 幹周1165cm 樹高42m

所 在 地 金沢市板ヶ谷町イ129

八幡神社

見どころ 富山県境に近い刀利ダムにいく途中、左側の高台に八幡神社がある。八幡スギとも呼ばれ、五株立ちの元締めのように幹周は県1位と大きい。

金沢市内の巨樹紹介



⑥⑦ 大野湊神社社叢

市指定天然記念物

所在地 金沢市寺中町ハ163

大野湊神社

見どころ 海岸に近いタブ林であるが、
今はケヤキの大木が多い。
神社は寺中の神事能で知られて
いる古社である。

県内の巨樹紹介

詳しくはこちらで紹介します

石川県巨樹の会ホームページ

<http://maggykei.la.coocan.jp/index.html>



外国の自然観察教育を1つ紹介します

古くからイギリスでよくする厄除けのおまじない

タッチウッド(Touchwood)

災いを避けるために願いを込めて
「タッチウッド」と言いながら木のものを触ります。

- ・大木に触れる
- ・木製ペンダント・キーホルダーなどに触れる

※森の自然体験教育

イギリス自然環境研究会議(NERC)

実験や体験を通して親子で環境科学を学ぶ
(2018年2月)

巨樹と語ろう

ご清聴ありがとうございました